

厚生労働省委託事業 AMR臨床リファレンスセンター主催

京都で初開催！

「AMR対策臨床セミナーin 京都」取材のご案内

昨今、薬剤耐性菌が世界的に問題となっており、わが国でも2016年に薬剤耐性(AMR)対策アクションプランが策定されました。昨年4月に厚生労働省の委託事業として設立された国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンターでは、アクションプランを臨床面で実行すべく、さまざまな取組みを行っております。(AMR情報サイト <http://amr.ncgm.go.jp/>)

今回、京都で初開催となる「AMR対策臨床セミナーin 京都」を実施します。このセミナーでは主にクリニックに勤務されている先生方を対象に、抗菌薬の適正使用に関し、「かぜ」診療の診断や治療をロールプレイを交えながらわかりやすく解説します。

つきましては、本セミナーを報道関係者の方々にもご参加いただけるようお席を用意いたしましたので、ご多忙とは存じますが、ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

※AMR(Antimicrobial resistance)とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです。

実施概要

- 名称 AMR対策臨床セミナー in 京都「かぜ診療ブラッシュアップコース」
- 日時 2018年1月20日(土) 14:00-16:45 (開場13:30～)
- 会場 TKPガーデンシティ京都 睡蓮
〒600-8216 京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1 京都タワーホテル 2階
TEL 075-600-2821
- 参加者 40名 (参加対象：感染症を専門としない医師 (とくに診療所の医師)
その他の医療従事者 (薬剤師、臨床検査技師、看護師など))
- 主催 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL 03-6228-0062
- 後援 一般社団法人 京都府医師会



AMR対策 臨床セミナー in 京都

●講演プログラム●

「薬剤耐性(AMR)の現状」 14:00～14:30

具 芳明 (国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター)
ぐ よしあき

「急性気道感染症の診断と薬物治療」 14:30～15:10

山本 舜悟 (京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター臨床研究教育・研修部 特定助教)
やまもと しゆんご

「患者とのコミュニケーション、効果的な説明」 15:15～16:45

※ロールプレイ方式で進行

山本 舜悟 (京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター臨床研究教育・研修部 特定助教)
やまもと しゆんご